語彙「たのしいことばあそび」

アプリ
オクリンク

ねらい 言葉遊びを通して身近なことを表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。

STEP 1

<発問>前の時間は教科書に載っているものと同じカードで言葉遊びをしました。そのときに自分は気が付かなかった言葉を、友だちが見つけていましたね。今日は自分で問題を作って、となりのお友だち(ペア)に送ってみましょう。
・配付したマス目カードの使い方を、理解しやすいようにスクリーンに映し、実際に書いて見せながら説明。
・問題の作り方のルールを説明→縦、横、斜めで3文字以内の言葉を考える。

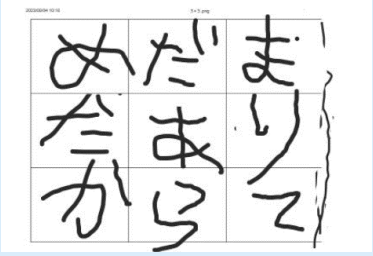
STEP 2

◆ めあて：ともだちにおくることばのもんだいをかんがえよう・かくれていることばをみつけよう

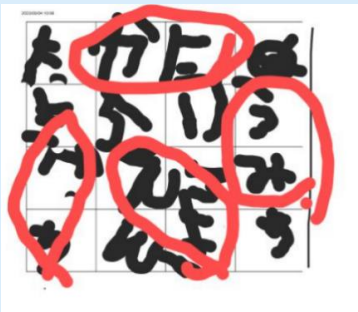
〈発問〉自分で問題を作ってみましょう。
・先生が送った3×3マス、4×4マスのカードで言葉を作る。
・もし言葉が思いつかない子どもがいたら、先生から1つだけ言葉を教えてもらう。
・自分が考えたカードを、隣の席の子ども(ペア)に送る。

<発問>届いたカードを見て友だちの問題にチャレンジしましょう。
・ペアの子どもから送られてきたカードを開き、見つけた言葉をマーカーで囲む。
・ペアで答え合わせをして、知らない言葉があれば説明する。

<発問>できたら提出BOXに送りましょう。
・カードを提出BOXに送る。
・クラス全員のカードを見て、感想を言い合う。
・先生がランダムに数人のカードを拡大表示して、言葉の説明を発表してもらう。



自分が考えたカード

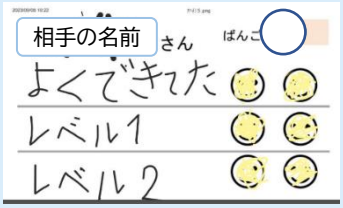


ペアの子どものカードで言葉を見つける

- 使い方動画　基本的なカードの作り方
- 使い方動画　提出BOXへの提出方法
- 使い方動画　提出されたカードを比較して共有する方法

STEP 3

<発問>言葉遊びカードを自分たちで考えて、問題の出し合いが出来ましたね。縦・横・斜めで言葉を探すことができましたか。出来たら振り返りカードを書きましょう。
・友だちのカードは、わかりやすかったか？→「よくできてた」の顔マークに色を塗る
・友だちのカードで言葉を見つけることができたか？→「レベル1」の顔マークに色を塗る
・知らない言葉をこの時間を通して知ることができたか？→「レベル2」の顔マークに色を塗る
　上記の観点で、ペアの子どものカードの感想を「振り返りカード」として提出BOXに送る



振り返りカード